

令和8年度

静岡大学技術職員 採用案内



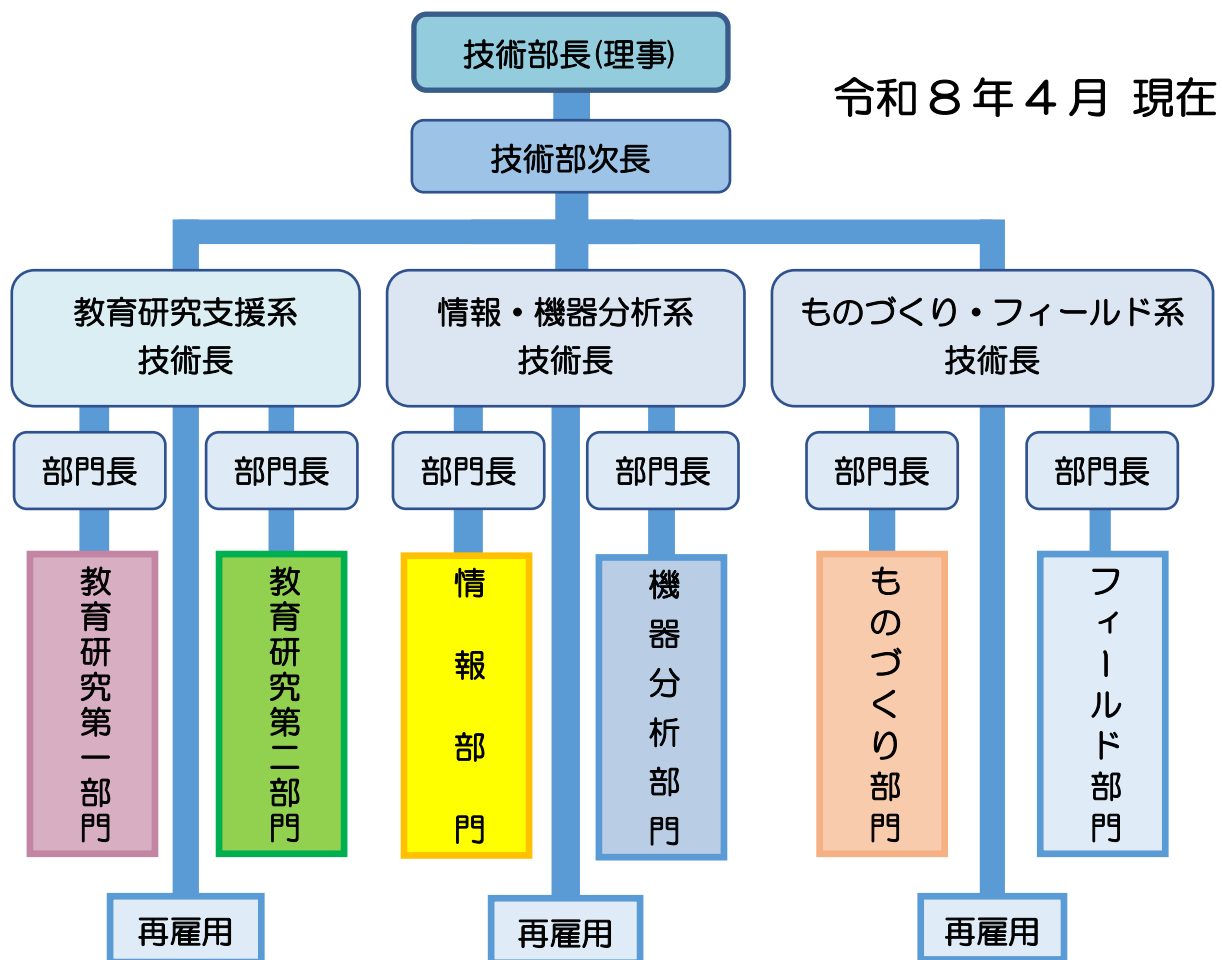
静岡大学技術部

静岡大学技術部

静岡大学技術部は、全学の教育研究支援系技術職員を集約した技術集団です。静岡大学のビジョンである「自由啓発・未来創成」に基づき、教員や事務職員と協働し、各技術職員の持つ技術の提供により、静岡大学の教育・研究における質の向上を目指しています。

技術職員とは

技術職員は、それぞれの専門技術を活かし、技術的立場から教育・研究の支援等を行います。静岡大学の場合、その分野、業務内容は多岐に渡り、技術職員の活躍の場は全学部・研究科・研究所、そして情報基盤センターといった全学の附属施設等にも及んでいます。



静岡大学技術部組織図

教育研究第一部門

教育支援業務として工学部のロボットを使った基礎実習、物理・化学及び化学・生物実験、各学科の学生実験の指導、実験教材の開発、研究の技術支援業務、特許の出願等の知的財産業務やその技術移転等の産学連携推進業務、計測機器の維持管理、地域貢献業務として出張実験や地域のものづくり講座、テクノフェスタ in 浜松への出展等、その他技術相談も行っています。

教育研究第二部門

教育支援として実験・実習の指導、教材作成・開発などを行っています。研究支援として機器分析、データ解析及び装置管理などに携わっています。その他、地方公共団体と連携した調査やイベント開催などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

情報部門

静岡キャンパス・浜松キャンパスのネットワーク支線を含めた情報基盤システム運用管理に関する業務支援、静岡大学の各種サーバーの運用・管理業務、実験・演習・講義補助等の教育・研究支援業務、学生や教職員に対するPC全般に関する補助業務を行っています。

機器分析部門

主に学内共同利用施設で研究設備や機器類の維持管理・運用を担っています。静岡・浜松共同利用機器センターでは大型分析・評価装置、電子工学研究所クリーンルームではナノデバイス作製・評価装置を担当しています。また、研究室への技術支援や、学生実験補助などの教育支援業務も行っており、研究者や学生の実験・研究活動に対し幅広い支援を提供しています。

ものづくり部門

工学部次世代ものづくり人材育成センターにて、ものづくりを基本とした支援と運営業務等を担っています。全学に向けて研究装置製作や修理、部品加工、技術相談といった支援や、学生の機械工作実習、安全講習等を行っています。

フィールド部門

地域フィールド科学教育研究センターにおいて、教育研究の支援と、フィールドの管理業務および生産・出荷業務などを行っています。センターは大きく分けて、持続型農業生態系部門(藤枝フィールド)と森林生態系部門(天竜フィールド、南アルプスフィールド)があります。農学部のみならず全学および他大学への実習、また公開講座や技術相談、出張授業など地域貢献においても活躍しています。



教育研究第一部門
令和4年度採用

■あなたの仕事を教えてください

主な業務としましては、一年間を通して化学バイオ工学科と電子物質科学科の学生実験指導補助に携わっており、試薬の準備や実験時のアドバイスなどを行っております。また、工学部2年生の化学実験も担当しています。多い時には週に4回実験があるため、実験関係が業務の主軸となっています。

その他日常業務としまして、所属する建物内のネットワーク管理なども担当しています。

■仕事の魅力はなんですか

学生時代に培った技術や経験を活かして、学生のスキルアップに貢献できることです。実験序盤には何も出来てなかった学生が、回を重ねるごとにスキルアップし、実験終



盤時にはてきばきと実験を出来るようになった姿を見れた時に、非常にやりがいを感じました。

また、技術研修や技術報告会にて専門外の知識や技術についても学べる機会があるため、自分のスキルアップも出来るのがこの仕事の魅力だと思います。

■働く上で心がけていること

学生の考える力を伸ばすということを中心に掛けながら、業務をしております。学生実験は授業で学んだ知識を実行出来る唯一の場です。ただ指導書を読みながら実験を進めるだけでは、実験を行う意味がありません。そのため、実験中に議論を交えながら実験進行をすることで、学生の考える力が伸びるように取り組んでいます。



教育研究第二部門
令和3年度採用

■あなたの仕事を教えてください

教育支援としては、主業務先である農学部での学生実験指導補助を行っています。学生に器具の使い方や手順のアドバイスをする他、実験で使用する試薬や器具の準備、メンテナンスなどもしています。研究支援としては、自身の学生時代の専門分野を生かして、教育学部における研究実験の一端を手伝わせてもらっています。また、去年は地域貢献として、静岡市の科学館でのイベント出展に従事しました。

■仕事の魅力はなんですか

自分の知識や出来る事が増えていくことに魅力を感じています。学生実験では、基礎的なことから専門性の高い内容まで、学生から様々な質問が飛んできます。中には、こ



れまで自分では特に疑問に思わなかったような内容のものもあり、学生を支援する立場ではあるものの、自分にとっても勉強になることが沢山あります。他にも、分析機器の講習会や技術部内で開催される技術研修などを通して、専門外の知識についても多く学べる機会がある点は非常にありがたく思っています。

■働く上で心がけていること

分からない事、疑問に思ったことはすぐに解消するようにしています。先輩職員や教員に尋ねたり自分で調べたりして、自分で理解・納得できるまで突き詰めて勉強しています。

他にも、覚えておくと便利なことや重要なことは全てメモを残すようにしています。



情報部門
令和6年度採用

■あなたの仕事を教えてください

現在の主な仕事は、情報学部に関わる機材や設備の管理・メンテナンス、パソコンやネットワーク関連のトラブルに対する一次対応を行うことです。他に教育現場でのサポートや実習内容の事前検証、授業や情報学部のシステムを使うため資料作成もしています。

私は現在大学で学んでいた内容とは異なる分野で働いています。そのため知らない用語や分からないことばかりですが、日々勉強しながら業務に取り組み、できる内容を増やしているところです。

■仕事の魅力はなんですか

私が魅力に感じている点は3つあります。一点目は自分の知識やできる事が増えてい



く点です。学んだことを踏まえた新しい仕事を振っていただくと嬉しく感じます。二点目は教職員や学生の日々の仕事や学びの支援が行える職場である点です。三点目は研究会で他の部門や機関の方々と交流する機会があり、普段自分が携わっていること以外の分野も知ることができる点です。

■働く上で心がけていること

不安な点や分からないことは曖昧なままにせず質問すること、それをメモに取っておくことです。メモに関しては仕事に関する理解が進むと、前に取った内容では足りないと感じることもあります。そのため一度で完璧なものを作成することは難しいですが、何度も初めから聞くことがないよう気を付けています。



機器分析部門
令和7年度採用

■あなたの仕事を教えてください

浜松共同利用機器センターにおいて、分析機器の維持管理および利用者支援を担当しています。日々の機器点検やメンテナンスに加え、初めて機器を使用する方への操作説明や測定方法のサポートを行っています。また、トラブル発生時には原因を確認し、早期に復旧できるよう対応しています。利用者が安心して機器を使用できる環境を整えることが主な役割です。

■仕事の魅力はなんですか

利用者ごとに研究内容や目的が異なるため、その都度異なる課題や相談に対応する点に難しさと面白さがあります。測定支援



やトラブル対応を通じて、研究が前進する場面に関われることにやりがいを感じます。さまざまな研究に間接的に関わることができる点も、この仕事の特徴です。

■働く上で心がけていること

就職後に初めて扱う機器も多く、現在も操作方法や原理を学びながら業務に取り組んでいます。そのため、不明点は都度確認し、理解を深めながら対応範囲を広げていることを意識しています。また、正確な情報共有と安全な運用を徹底し、利用者の理解度に応じた説明を行うことで、安心して機器を利用できる環境づくりを心がけています。



ものづくり部門
令和6年度採用

■あなたの仕事を教えてください

研究室や部活・サークルから依頼された部品や装置の製作加工と、学生に加工技術を教える実習指導を行っています。

製作加工業務では、まず依頼者と製作物の図面の確認を行い、使用する加工機械の選定や段取りを検討し、製作を開始、適宜状態を依頼者に確認してもらいながら完成に向けて製作を進めていきます。

実習業務では「溶接」を担当しており、学生が溶接加工を適切に体験できるよう、安全確認をしたり、必要に応じてヘルプに入るなどしています。

■仕事の魅力はなんですか

様々な加工機械に知識や工夫を組み合わせながら製作を進めていくことに達成感があることです。



特定の部品を多数製作する際、治具を用意するだけで大幅に作業が楽になることがあり工夫しがいがあります。様々な加工機械や金属の材料が利用できることに加え、トライ&エラーで自分なりの工夫に取り組んでいけることに魅力を感じます。

■働く上で心がけていること

安全第一で仕事をする事です。普段扱っている加工機械の多くは金属を加工することを前提としているため、巻き込まれたりすることがあれば大けがにつながるからです。また、加工機械の扱いになれていない学生がいる現場でもあるため、自分だけでなく周りの安全についても気を配るよう心がけています。



フィールド部門
令和2年度採用

■あなたの仕事を教えてください

天竜にある演習林に勤めています。私の仕事は主に森林の管理と実習の補助です。森林の管理として春は植栽、夏は草刈り、秋～冬は間伐を行っています。この仕事内容は林業と大きく変わらないと思います。実習の補助として実習の下準備や学生の送迎などを行っています。そのほかにドローンを用いた演習林内の測量や野生動物撮影用のセンサーカメラの設置などを行っています。

■仕事の魅力はなんですか

木を倒せることが魅力です。受け口切りというやり方で木を倒していますが、うまくやれば高さが20~30mはある木を自分の



倒したいと思った方向に倒すことができるため、正しく切れたときは面白いです。ただし自分の癖や技術の未熟さによって伐倒方向が狂った時はもどかしさを感じるかもしれません。

■働く上で心がけていること

林業における労働災害の発生率はほかの産業と比べて高く、似たような仕事をしている我々も同様の危険の中で仕事をしています。特に林業で発生した労災の60%がチェーンソーを用いた伐倒作業で発生しています。なので、正しい手順で伐倒を行うことや、保護具をきちんと着用するように心掛けています。

私達と一緒に静岡大学を盛り上げ
未来を担う人材を育て地域とともに歩む
好奇心にあふれ情熱をもっている
技術職員を求めています！





静岡大学技術部

静岡キャンパス

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 TEL:054-238-3621

浜松キャンパス

〒432-8561 浜松市中央区城北 3-5-1 TEL:053-478-1679

URL: <https://www.tech.shizuoka.ac.jp/>